

秋田元気創造イノベーション推進地域

森林バイオマスの循環型利活用の実践と森林管理の最適化

参画機関 (大字はプログラム実施機関)

産…秋田県商工会議所連合会、秋田県商工会連合会
 学…秋田県立大学、秋田工業高等専門学校、秋田県総合食品研究センター
 官…秋田県
 金…秋田銀行、北都銀行

地域イノベーション戦略

地域全体では、高機能電子デバイスや材料技術等を共通基盤として、鉱山技術等を背景とした環境・資源リサイクル技術、豊富な農林水産資源の活用や再生可能エネルギー開発によるグリーンイノベーション、高齢化が著しい社会でのガン疾患や精神・脳神経疾患治療研究による医療機器等の開発、醸造発酵技術を活かした医薬品・健康食品の開発等を通じてライフイノベーションを創出し、安心・安全に暮らせる持続可能な社会の実現を目指しています。

こうした中、森林バイオマスの利活用については、特に支援体制を強化して各機関と連携した活動を展開しています。



プロジェクトディレクター
高田 克彦

略歴：科学技術庁科学技術特別研究員、九州大学助手、秋田県立大学助教授を経て、2007年より同教授。博士（農学）。

森林バイオマス資源の総合的・循環的な利活用による林業及び木材産業の成長産業化は日本再興戦略において重要なテーマの一つです。我々は、特徴的なスギ微粉砕木粉を利用した新事業の創出とそれを可能にする森林資源管理とサプライチェーンの最適化、地域を牽引するビジネスリーダーの育成を通して、関連企業のクラスター化による森林産業の構築を目指していきます。

事業の内容

【全体計画及び成果】

本事業の基盤技術であるタンデムリング型微粉砕機による木材微粉砕技術を実用化するために研究者を招聘し、特徴ある粉砕品の新規需要を開拓すると共に、地域木質資源の循環型利活用を促進するため、木材の効率的な集材法と川上から川下までのサプライチェーンを確立します。また、地域産業を牽引するイノベーター人材の育成、知のネットワーク化による異分野交流促進の事業を実施することで、森林資源利用におけるパラダイムシフトを図ります。

【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積
 (実施機関：秋田県立大学、秋田県総合食品研究センター)
 実用規模のバイオエタノール製造プラントに対応できる粉砕機を開発し、木質バイオマス資源の木質バイオエタノール等への利活用を目指します。



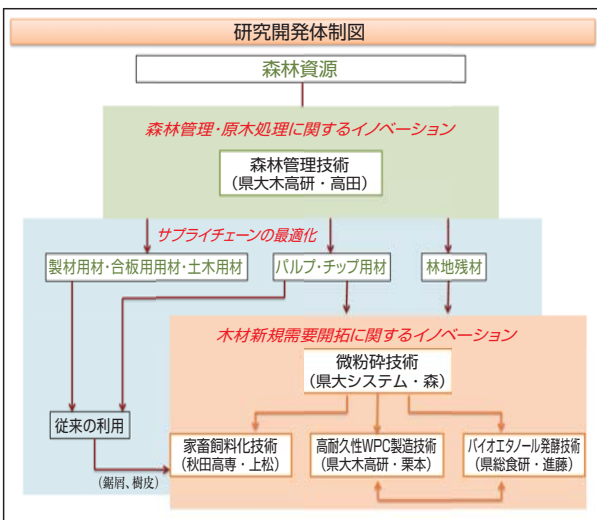
特徴の有る木材微粉砕物を効率的に生産するタンデムリング型微粉砕機

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施 (実施機関：秋田県立大学)

プロダクト、プロセス、マインドという3領域におけるイノベーションに関わる講義・実習を主体とした人材育成プログラムを実施します。

3. 大学等の知のネットワークの構築 (実施機関：秋田県立大学)

大学等の技術シーズの発掘と木質バイオマス資源に関する地域の技術シーズ情報の収集・整理を行い、本事業の実現に向けた民間企業との連携体制を構築します。



本事業における研究開発体制図